

SHARP®

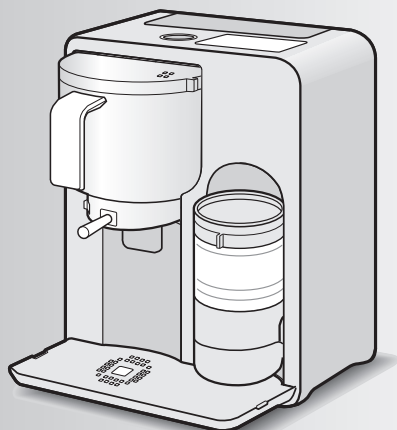
お茶メーカー **家庭用**

取扱説明書

形名

ティーイー ジー エス エイ

TE-GS10A



HEALSIO

ヘルシオお茶PRESSO

もくじ

ページ

はじめに

安全上のご注意	2
ご使用前のご注意	4
お茶メーカーでできること	5
各部のなまえと扱い	6
・本体・(操作部)・付属品	7
・水タンク・お茶容器	8
・お茶うす(分解方法)	8

使いかた

茶葉を挽く	10
温茶をつくる	12
・粉末茶を入れて、湯を沸かす	14
・粉末茶をつくりながら、湯を沸かす	14
ラテをつくる	16
冷茶をつくる	17

必要なときに

お手入れ	18
・本体・置き台・受け皿	19
・水タンク・お茶容器	20
・お茶うす	21
(組立方法)	21
・クエン酸洗浄	23
故障かな?	24
仕様	25
保証とアフターサービス	26
お客様ご相談窓口のご案内	27

裏表紙

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書(保証書付)をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- ご使用前に、「安全上のご注意」を必ずお読みください。
 - この取扱説明書(保証書付)は、いつでも見ることが出来る所に必ず保存してください。
- ※業務用として、使用しないでください。

HEALSIO HEALSIO のロゴおよびヘルシオお茶PRESSO、HEALSIOお茶PRESSOはシャープ株式会社の商標です。
お茶PRESSO ~ヘルシオお茶PRESSO

製品登録の
お願い

オンラインでの各種サポートサービスをご利用いただくために、〈SHARP i CLUB〉で
ご愛用製品の登録をお願いいたします。(登録無料)

<http://iclub.sharp.co.jp/m/>

スマートフォンや
携帯電話はこちらから





安全上のご注意 必ずお守りください

〇の数字は、主な説明のあるページを示しています。


人への危害、財産への損害を防ぐため、お守りいただくことを説明しています。


■誤った使いかたで生じる内容を、次のように区分して説明しています。

 **警告** 「死亡または重傷を負うおそれがある」内容。

 **注意** 「軽傷を負う、または財産に損害を受けるおそれがある」内容。

■お守りいただく内容の種類を次の図記号で説明しています。

 してはいけないこと。

 しなければいけないこと。

警告 感電や漏電、発火などによる事故やけがを防ぐために

分解・修理・改造はしない



分解禁止

- 自分で絶対に分解・修理・改造をしない(感電・火災・けがの原因)
修理は、お買いあげの販売店、またはお客様ご相談窓口にご連絡ください。(27ページ)

子供だけで使わせない



- 乳幼児の手の届く所で使用・保管をしない(感電・やけど・けがのおそれ)

本体を水でぬらさない



水ぬれ禁止

- 本体を水につけたり、水をかけたりしない(感電・ショート・故障の原因)

異常・故障時には、直ちに使用を中止する



- すぐに電源プラグを抜いて、販売店へ点検・修理を依頼する(発煙・発火・感電・けがのおそれ)
- 電源プラグやコード、本体が異常に熱くなる。
- コゲ臭いにおいがしたり、異常な音や振動がする。
- 水タンクなどの部品にひびや破損箇所がある。
- その他の異常や故障がある。

電源プラグやコードは、乱暴に扱わない



- ゆるんだコンセントは使わない
- 傷んだ電源プラグやコードは使わない
- 傷付けたり、変形させない
- 収納時にコードを本体に巻き付けられない無理に曲げる・引っ張る・ねじる・束ねる・重い物をのせる・挟み込む・加工する・高温部に近付けるなどをしない。(火災・感電・ショートの原因)



- 定格15A以上・交流100Vの専用コンセントを単独で使う(他の器具と併用した分岐コンセント[延長コード]を使うと異常発熱し、発火・感電の原因)
- 電源プラグは根元まで、確実に差し込む(発火の原因)
- 定期的に電源プラグに付いたほこりを乾いた布で拭き取る(ほこりがたまると、火災の原因)



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない(感電・けがの原因)

湯沸かし中は、お茶容器に触れたり、蒸気口に手や顔などを近付けない



接触禁止

- 特に乳幼児には触らせないようにご注意ください(やけどの原因)



注意 けがを防ぎ、家財などを守るために

次のような場所で使用しない



- 不安定な場所や熱に弱い敷物の上 (けが・やけど・火災・水漏れの原因)
- 水のかかる所や火気の近く (変色・変形・感電・火災の原因)
- 壁や家具の近く (変色・変形の原因)

電源プラグは正しく扱う



- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たず、必ず電源プラグを持って引き抜く (感電やショートして、発火の原因)



プラグを抜く

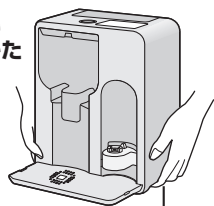
- 部品の取り付け・取りはずし・お手入れは、必ず電源プラグをコンセントから抜いておこなう (感電・けがの原因)
- 使用時以外は、電源プラグを抜く (絶縁劣化などで感電や漏電・火災の原因)

移動させるときは



- お茶うす・お茶容器は取りはずす (落下によるけがや、やけどの原因)
- 電源プラグを抜き、持ち手を持って、水平に持ち上げる

正しい持ちかた



持ち手 (左右)

水タンクについて



- 湯沸かしの水は、水道水を使う 浄水器の水、アルカリイオン水、ミネラルウォーターなどは、使用しない (水あかがたまりやすく、故障の原因)
- こまめに洗い、清潔に保つ 水の交換だけでは、容器に水あか、ぬめりが付着するので、やわらかいスポンジを使い、台所用合成洗剤(中性)で洗ってください。お手入れ後は、十分に水気を取ってください。

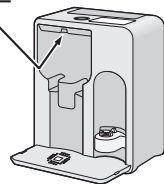


- 水以外の液体(牛乳など)およびお湯を入れて、湯沸かししない (故障・やけどの原因)

その他



- 運転中にお茶うすの投入口などに指や異物などを入れない (故障・けがの原因)
- 運転中や使用後しばらくは高温部(お茶容器や抽出口など)に触れない (やけどの原因)
- 湯沸かしランプ点滅時は、お茶容器を取りはずしたり、フタを開けたりしない (やけどの原因)
- 取扱説明書・メニュー集に記載以外の用途には使わない
- 直射日光が当たる場所で使用・保管しない (製品の変色の原因)
- 運転中、本体を倒したり、傾けたりしない (落下によるけが・やけどの原因)



- お手入れは冷めてからおこなう (やけどの原因)

ご使用前のご注意

次のことをお守りください

粉末にするお茶について

- 日本茶、紅茶、中国茶などのお茶が適していますが、次のようなお茶は使用しないでください。(故障の原因)
 - 茶葉以外のお茶(麦茶・黒豆茶など)、茶葉以外のものが含まれているお茶(玄米茶など)
 - お茶うすの投入口に入らない長い茶葉(短くしてお使いください)
 - 粉に近い状態の細かい茶葉
- ※ほうじ茶などの大きい茶葉は、ビニール袋に入れて揉み、小さくしたあと、茎や枝部分を取り除いてご使用ください。
詳しくは、(別冊メニュー集 4～5 ページ) をご覧ください。
- あらかじめ茶筒(金属製の容器)に移すなどしてお使いください。
プラスチック製の容器や、購入時の袋のまま保管していると静電気が発生しやすくなるため、挽いた際の粉末が受け皿以外に飛び散り、できあがり量が少なくなります。
- 湿った茶葉は使用しないでください。

水タンクについて

- コンロのそばや、高温になる場所に置かないでください。(溶けたり、変形のおそれ)

お茶容器について

- 直火にかけたり、電子レンジで加熱しないでください。(溶けたり、変形のおそれ)
- フタは必ず閉めてください。(かき混ぜによる飛び散りの原因)
- 内側はフッ素コーティング加工をしています。
ご使用に伴い、フッ素コーティング加工は消耗します。
長くお使いいただくために、硬い金属などのヘラ等で傷付けしないでください。
- 回転はね (7 ページ) は磁石付きです。磁気に弱いものに近づけないでください。

お茶うすについて

- うすはセラミック製です。
落としたり、衝撃を与えると割れます。取り扱いにご注意ください。
- 水洗い後は水分をしっかりと拭き取り、よく乾燥させてください。(20 ページ)

初めて使うときや、長期間使わなかったときは、次のようにお手入れしてください

- ① 水タンク、お茶容器を洗い、お茶容器を本体に取り付ける。
お茶うすを洗った場合は、水分を拭き取り、自然乾燥(8時間以上)してからお使いください。
- ② 水タンクに水位3まで水を入れてセットする。(水位3を超えて入れない)
- ③ 茶 を押して、「温茶」を選び、「スタート」を押す。(湯沸かしランプが点滅)
- ④ 終了音(ピーピーピー)が鳴ったら、置き台に容器などを置き、給茶レバーを下げて、お湯を容器に入れ、お湯を捨てる。(お湯はすべて捨てます)

お茶メーカーでできること

茶葉を粉末にしたり、粉末茶を使って飲み物をつくれます

■茶葉を挽いて粉末茶をつくります (10 ページ)




2種類(細・粗)の挽きかたから選べるので、飲み物だけでなく、お料理にもお使いいただけます。

細…飲み物用、粗…お料理用



■お湯・冷たい水・牛乳と粉末茶をかき混ぜて、飲み物をつくります

～緑茶でつくる場合～ (茶葉の種類によって茶葉・粉末茶量は異なります)

飲み物	できる分量*	目安時間	用意するもの
温かいお茶 (12 ページ) 	1～3杯分	3～4分	・粉末茶(0.6～1.8g) ・水(水タンクの水位1～3)
		茶葉から粉末茶をつくりながら、湯を沸かす場合 (14 ページ) 3分30秒 ～6分50秒	・茶葉(1.0～2.2g) ・水(水タンクの水位1～3)
緑茶ラテ (16 ページ) 	1～2杯分	約1分30秒	・粉末茶(2～4g) ・牛乳(お茶容器内のラテの水位1～2) ※水タンクには入れません。 牛乳は、成分無調整牛乳をお使いください。 加工乳や低脂肪乳は、泡立ちがよくありません。
冷たいお茶 (17 ページ) 	1～3杯分	約1分30秒	・粉末茶(0.6～1.8g) ・冷たい水(お茶容器内の冷茶の水位1～3) ※水タンクには入れません。 ミネラルウォーター、浄水器の水が使えます。

※1杯分(水位1)：約150mL

2杯分(水位2)：約285mL

3杯分(水位3)：約420mL

保温機能はありません。できあがった飲み物は、なるべくお早めにお飲みください。

別冊メニュー集では、各種のお茶やラテメニュー、粉末茶を活用したお料理やお菓子メニューを掲載していますので、お試しください。

各部のなまえと扱いかた

本体・(操作部)・付属品

本体

お茶容器ロック
解除ボタン



給茶レバーロック

給茶レバーロック



ロック ↔ 解除

給茶レバー

給茶口

置き台(着脱式)

受け皿

水タンク 7 ページ

操作部 下記参照

お茶容器 7 ページ

お茶うす 8 ページ

電源コード

電源プラグ

受け皿はここにセットします。

操作部

分量ランプ

メニューランプ



すべての動作を取り消すときに

茶葉を粉末にするときに
(分量を選びます)

粉末を入れるタイミングを点滅してお知らせします。
(挽く・温茶を同時に設定したとき)

湯沸かしランプ
湯沸かし中に点滅します。

メニューを選ぶときに

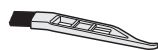
運転をスタートするとき、一時的に止めるときに

付属品

(各1)

使用中に破損したり、紛失したときは、お買いあげの販売店へご依頼いただくか、シャープ地区別窓口でもご注文いただけます(有料) (27 ページ)

・清掃用ブラシ
(お茶うす専用)



・お茶スプーン

大(茶葉用)
小(粉末用)



・取扱説明書(保証書付)

・メニュー集

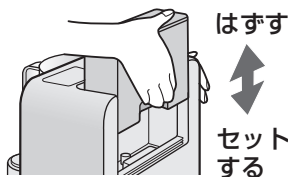
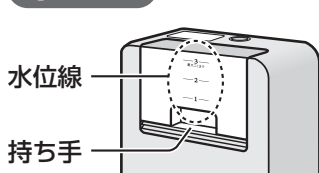
・ご使用ガイド

当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書/メニュー集はありません。

This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

水タンク・お茶容器

水タンク



- 持ち手に指をかけたもう片方の手で本体を押さえながら上方に引き抜く。
- 本体背面に沿わせて下方に差し込む。(根元まで確実に差し込む)

ご注意

- 水以外の液体(牛乳など)やお湯を入れないでください。
- 最大水位3を超えて入れないでください。
- 途中で水を加えないでください。(お茶容器内のお湯があふれて、うまくできません)

お茶容器

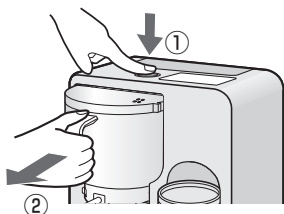


- 内側に、「ラテ」と「冷茶」の水位線があり、使い分けます。

[はずしかた]

- ① お茶容器ロック解除ボタンを押しながら、
- ② 手前に引き抜く。

- 勢いよく引いたり、傾けたりしないでください。(けがや故障の原因)



[取り付けかた]

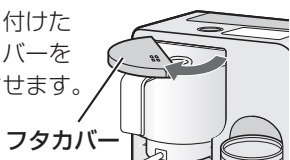
奥まで確実に押し込む。



[フタの開けかた]

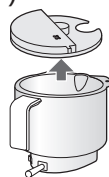
粉末を投入するときは(温茶)

本体に取り付けたままフタカバーをスライドさせます。



水や牛乳を入れるときは(ラテ)

本体から取りはずして、フタを取りはずします。



[フタの閉めかた] 注ぎ口とフタの凹部を合わせます。

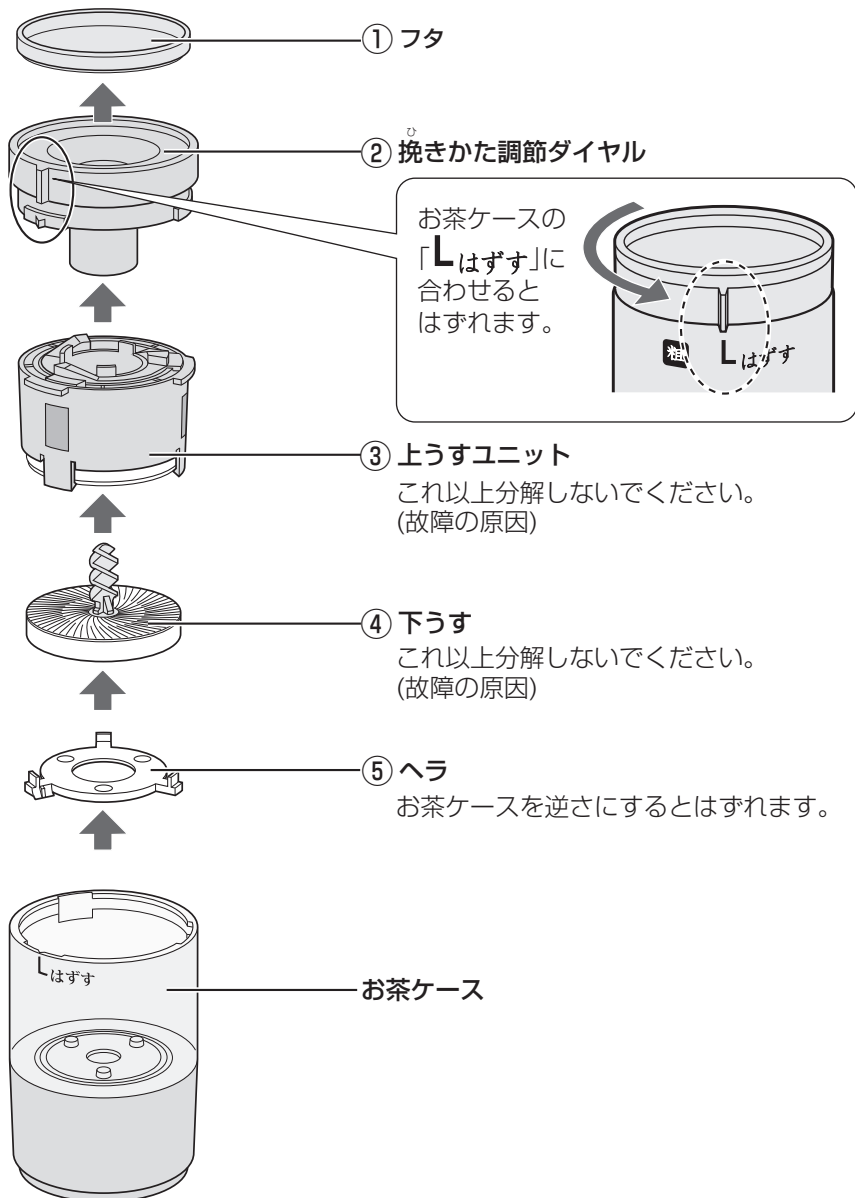


…各部のなまえと扱いかた

お茶うす (分解方法)

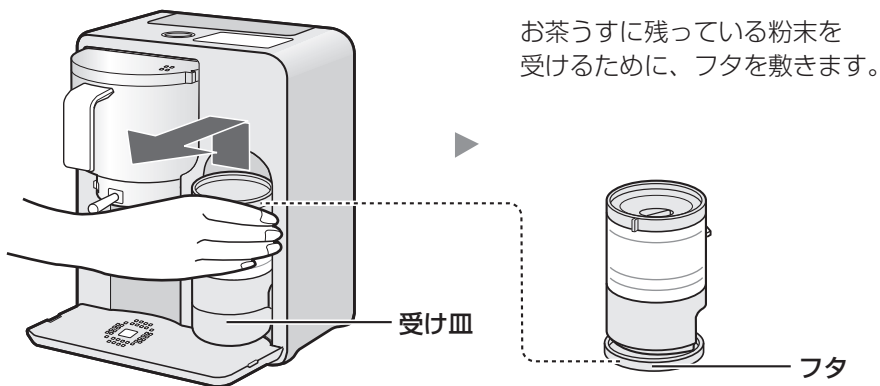
組立方法 21 ページ

分解するときは、番号順に取りはずします。



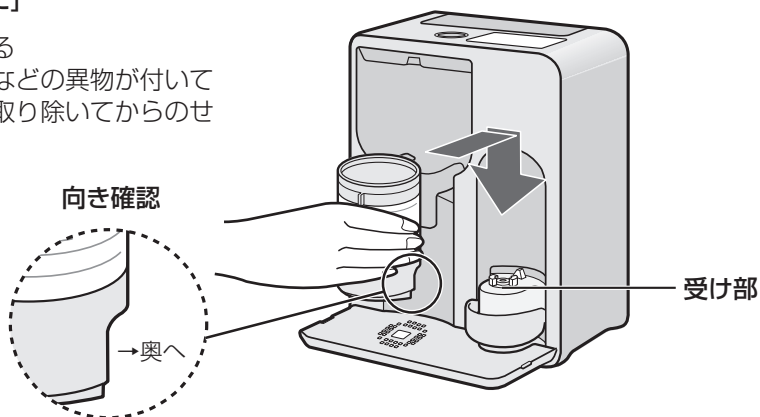
[はずしかた]

上に持ち上げ、手前に引く。
(受け皿を置いておく)



[取り付けかた]

受け部にのせる
受け部に茶葉などの異物が付いているときは、取り除いてからのせます。



お知らせ音についての設定 お知らせ音を鳴らないように設定できます。

- **スタート** を「ピピッ」と鳴るまで4秒間押します。
お知らせ音が鳴らない設定中のときでも、エラーの音(ピピピピ…)は、鳴ります。
- 鳴らす設定に戻すときは、**スタート** を「ピッ」と鳴るまで4秒間押します。

茶葉を挽く

粉末茶をつくるときに

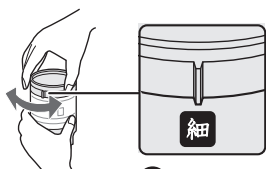
1

受け皿をセットして (6 ページ)

お茶うすを取りはずす

2

- 1 挽きかた調節ダイヤルを回してお好みの挽きかたに合わせる



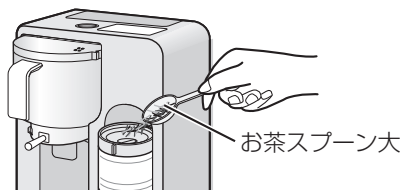
例 「細」に合わせたとき

- 挽きかた調節の使い分け
細：飲み物用
粗：お料理用

- 2 本体にセットする

3

- 1 お茶うすのフタをはずし
- 2 茶葉をゆっくり入れる



- お茶スプーン大を使います。
- 茶葉が投入口に残らないようにお茶スプーンで入れてください。

- 3 フタをする

[目安分量]～緑茶の場合～

分量	茶葉量※	できあがり粉末量
①	1/2杯(約1.0g)	約0.6g
②	1杯弱(約1.6g)	約1.2g
③	1杯強(約2.2g)	約1.8g
まとめ挽	2 1/2杯(約5g)	約4g

※スプーン大を使った場合の目安ですが、茶葉の種類により、多少異なります。

- 茶葉の種類や大きさなどによって、できあがり粉末量が増減します。
- 初めてお使いのときやお手入れ後は、できあがり粉末量が少なくなります。
1～2杯分の茶葉を挽くときは、1杯分多い分量でおこなってください。

電源プラグを差し込みます

① 分量を選び、② スタートを押す



例) 2杯分の茶葉を挽くとき

ひ
挽く



お茶うすのフタを
数回軽くたたいて
から、受け皿を取り
出す



茶葉が投入口に残っているときは、

- 手順④で①に合わせて、茶葉がなくなるまで、挽いてください。

連続使用について

製品の保護機能がはたらき、分量によっては連続して挽くことができません。分量を選んだ際に、分量ランプの点滅と音(ピーピー…)でお知らせします。休止時間をおいてから操作してください。(4~30分程度) (25ページ)

- ③ 挽くを押すことにランプが移動します。

→①→②→③→まどめ挽→消灯

[目安時間]

①	…約2分
②	…約4分
③	…約6分
まどめ挽	…約15分

- お茶うすの底には粉末茶が残っている場合があるので、お茶うすのフタを数回軽くトントンとたたいてください。
- 粉末茶をすぐに使わない場合は、密閉容器に入れて冷凍庫に保存し、お早めにお使いください。

できあがり

ご使用後は、電源プラグを抜いてお手入れしてください。(18ページ)

ご注意

- ご使用後は、うす部分が高温になりますので、冷めてからお手入れしてください。
- できあがった粉末茶を、再び投入口に入れて挽かないでください。(故障の原因)

温茶をつくる

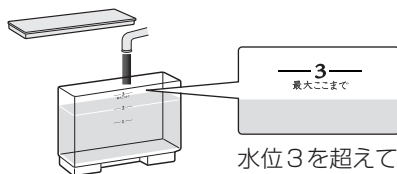
あらかじめ挽いて
おいしい粉末茶を使
います。



粉末茶を入れて、湯を沸かす

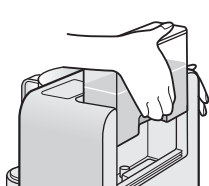
1 お茶容器がカラであることを確認し、
本体に取り付ける

2 水タンクに、水を入れる
(水位1が1杯分に相当)



水位3を超えて
入れない

3 本体にセットする

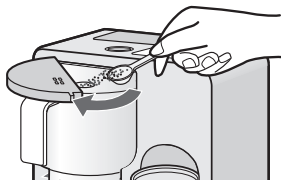


根元まで確実に
セットする

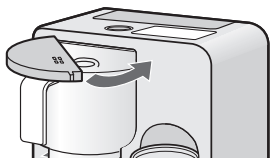
- 水以外の液体(牛乳など)やお湯を入れない。
- 本体にセットしたままで、水を入れない。
- セット後は、水タンクをはずさない。(本体から水が出てきます)

1 お茶容器のフタカバーを開ける

2 お茶スプーン小で粉末茶を
入れて、



3 フタカバーを閉める



【粉末量*の目安】
～緑茶の場合～

水位1…1杯(約0.6g)
水位2…2杯(約1.2g)
水位3…3杯(約1.8g)
※お茶スプーン小で
山盛りにしてはかり
ます。



電源プラグを差し込みます

①「温茶」を選び、② スタートを押す



- **茶** を押すごとに、ランプが移動します。

→温茶→ラテ→消灯←

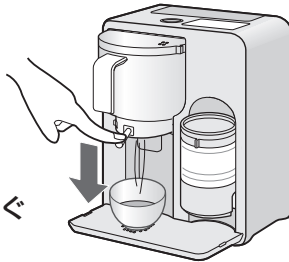
- 水温により時間は異なります。
- 湯沸かし中は、ランプが点滅します。湯沸かし後、消灯します。



沸かして混ぜる 3~4分



湯のみなどを置き台に置き、給茶レバーを下げてお茶を注ぐ



- お茶を注ぐ前に給茶レバーロックを解除し、注ぎ終わったら、ロックしてください。



マイボトルなどに注ぐときは

お茶容器を取りはずし、ふきんなどを使い、フタをはずします。

※お茶容器・抽出口 **3 ページ** が熱くなっています。やけどにご注意ください。



できあがり

ご使用後は、電源プラグを抜いてお手入れしてください。(18 ページ)

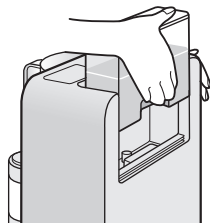
温茶をつくる

…温茶をつくる

粉末茶をつくりながら、湯を沸かす

- 1 お茶容器がカラであることを確認し、本体に取り付ける
- 2 水タンクに、水を入れる
(水位1が1杯分に相当)
- 3 本体にセットする

1



- 水位3を超えて入れない
- 根元まで確実にセットする

- 水以外の液体(牛乳など)やお湯を入れない。
- 本体にセットしたまま、水を入れない。
- セット後は水タンクをはずさない。
(本体から水が出てきます)

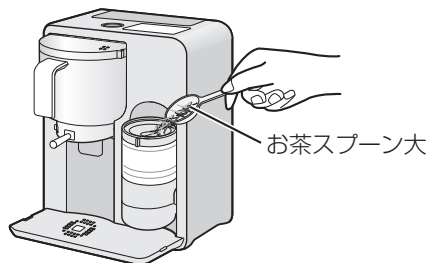
- 1 受け皿をセットして、お茶うすを取りはずす
- 2 挽きかた調節ダイヤルを回して、「細」に合わせ、本体にセットする

2

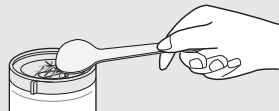
- 「細」に合っているときは、お茶うすを取りはずす必要はありません。

お茶うすのフタをはずし、
茶葉をゆっくり入れ、
フタをする

3



- お茶スプーン大を使います。
【目安分量】(10ページ)
- 初めてお使いのときやお手入れ後は、できあがり粉末量が少なくなります。1~2杯分の茶葉を挽くときは、1杯分多い分量でおこなってください。
- 茶葉が投入口に残らないように、お茶スプーンで入れてください。



電源プラグを差し込みます

- ① 分量を選び、
- ② 「温茶」を選び、
- ③ スタートを押す



例) 2杯分の温茶をつくる場合

挽く・沸かす ... 2~15分

[できあがりまでの目安時間]

- ① ...約3分35秒
- ② ...約4分50秒
- ③ ...約6分50秒
- まどめ挽く ...約15分50秒

- 「粉投入」が点滅して、粉末茶を入れるタイミングをお知らせします。
- 挽く・沸かすのでできあがり時間に時間差があり、湯沸かし終了前にうすの回転が止まる場合があります。

5



受け皿を取り出す

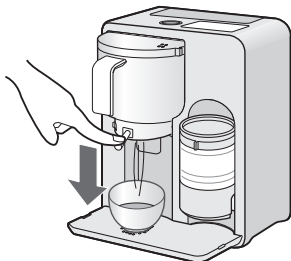
お茶スプーン小で粉末茶をお茶容器に入れ、フタカバーを閉めてスタートを押す



混ぜる ... 50秒~1分30秒



湯のみなどを置き台に置き、給茶レバーを下げてお茶を注ぐ



- お茶容器周辺が熱くなっていますので、粉末茶を入れるときは、やけどにご注意ください。
- 「粉投入」が点滅してから10分以内に「スタート」を押さないと点滅が消灯して、取り消されます。

- お茶を注ぐ前に、給茶レバーロックを解除し、注ぎ終わったら、ロックしてください。



できあがり

ご使用後は、電源プラグを抜いてお手入れしてください。(18ページ)

ラテをつくる

別冊メニュー集では、
いろいろなラテのつ
くりかたをご紹介します。
ています。

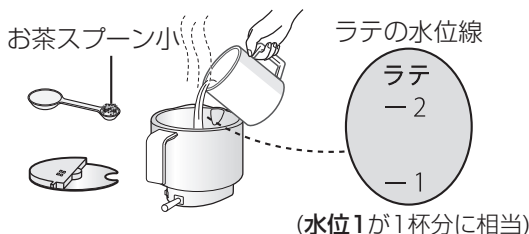


牛乳と粉末茶をかき混ぜてつくる

あらかじめ挽いておいた粉末茶を使います。

茶葉を挽く (10ページ)

1 お茶容器にあたためた牛乳、粉末茶の順に
入れ、フタを閉め、本体に取り付ける



- 水タンクは使いません。
- あたためた牛乳を注ぐときは、やけどに注意してください。冷たい牛乳(冷蔵保存)でもできます。
- お茶容器内側にラテの水位線があります。(1～2まで)

[粉末量※の目安]

水位1…3～4杯(約2g)
水位2…6～7杯(約4g)
※お茶スプーン小で山盛り
りにしてはかります。

電源プラグを差し込みます

- 粉末茶を先に入れないで
ください。(ダマの原因)

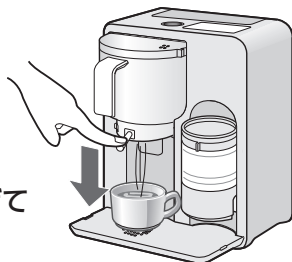
2 「ラテ」を選び、
スタートを押す

温茶 ラテ



混ぜる 約1分30秒

3 できあがり
カップなどを
置き台に置き、
給茶レバーを下げ
てラテを注ぐ



- お茶を注ぐ前に
給茶レバーロックを解除し
注ぎ終わったら、ロックし
てください。



お茶容器に残った泡をスプーンなどですくって
カップに入れるときに、金属製のスプーンなどは
使わないでください。(傷付きの原因)

ご使用後は、電源プラグを抜いてお手入れしてください。(18ページ)

ご注意

- 本体にセットしたままのお茶容器に、牛乳を入れしないでください。
- ラテの水位2を超えて牛乳を入れしないでください。(かき混ぜによる飛び散りの原因)
- 常温保存の牛乳は使わないでください。(舌触りが悪く仕上がります)

冷茶をつくる

浄水器の水やミネラルウォーターが使えます。



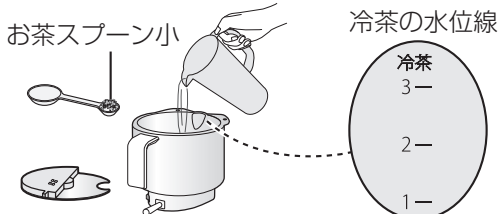
冷やした水と粉末茶をかき混ぜてつくる

あらかじめ挽いておいた粉末茶を使います。

茶葉を挽く (10ページ)

1

お茶容器に冷水、粉末茶の順に入れ、フタを閉め、本体に取り付ける



(水位1が1杯分に相当)

電源プラグを差し込みます

- 水タンクは使いません。
- 氷は入れない。
- お茶容器内側に冷茶の水位線があります。(1～3まで)

[粉末量*の目安]

水位1…1杯(約0.6g)
水位2…2杯(約1.2g)
水位3…3杯(約1.8g)
※お茶スプーン小で山盛りにはかります。

- 粉末茶を先に入れないでください。(ダマの原因)

2

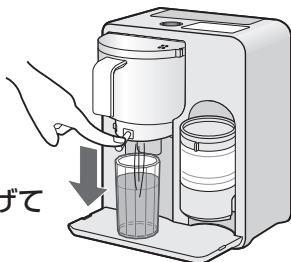
「ラテ」を選び、**温茶 ラテ** スタートを押す



混ぜる 約1分30秒



カップなどを置き台に置き、給茶レバーを下げて冷茶を注ぐ



- お茶を注ぐ前に給茶レバーロックを解除し注ぎ終わったら、ロックしてください。



- マイボトルなどに注ぐときは、お茶容器を取りはずし、フタをはずして注いでください。

ご使用後は、電源プラグを抜いてお手入れしてください。(18ページ)

ご注意

- 本体にセットしたままのお茶容器に、冷水を入れしないでください。
- 冷茶の水位3を超えて水を入れしないでください。(かきませによる飛び散りの原因)

ラテをつくる / 冷茶をつくる

できあがり

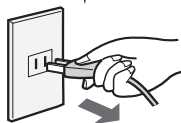
お手入れ

注意

必ず電源プラグをコンセントから抜き、製品が冷めてからおこなう
プラグを抜く
【感電・やけど・けがの原因】

使うたびに

電源プラグを抜く



次のものは使わないでください

(塗装のはがれ・傷付き・変色・内部に液が浸透し故障の原因)



シンナー
ベンジン
アルコール



磨き粉
塩素系
漂白剤



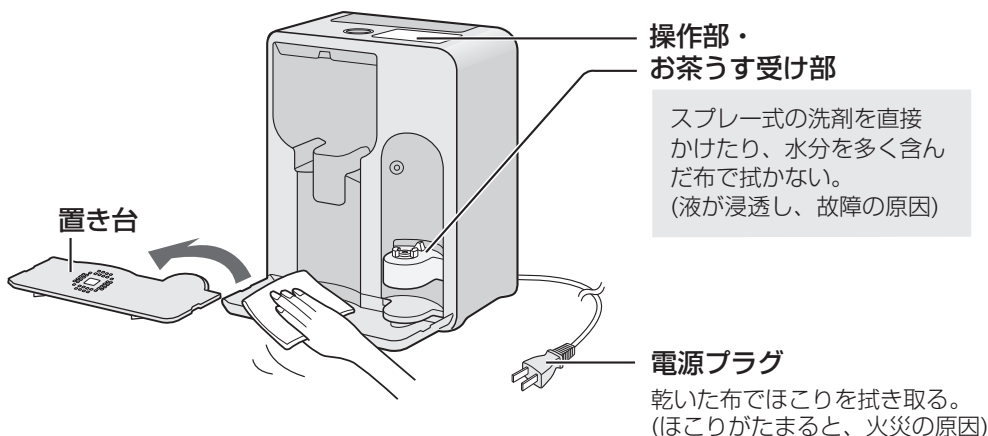
住宅用・家具用・
換気扇用合成洗剤
酸性・アルカリ性洗剤



スプレー式洗剤
金属タワシ
硬めのスポンジ

食器洗い乾燥機・食器乾燥器は使えません

本体 固く絞ったふきんで水拭きする



操作部・ お茶うす受け部

スプレー式の洗剤を直接
かけたり、水分を多く含ん
だ布で拭かない。
(液が浸透し、故障の原因)

電源プラグ

乾いた布でほこりを拭き取る。
(ほこりがたまると、火災の原因)

置き台を取りはずし、ふきんなどで水気を拭き取る。
(水がたまったらそのまま放置すると、変色・におい・腐敗の原因)

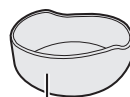
置き台・受け皿 やわらかいスポンジを使い水洗いする



- 汚れが取れにくい場合は
台所用合成洗剤(中性)を使います。
- 受け皿はしっかりと水気を拭き
取ってください。



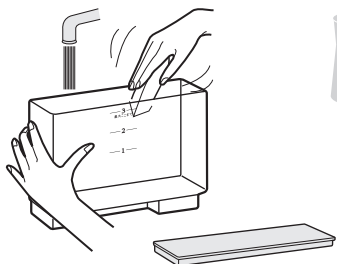
置き台



受け皿

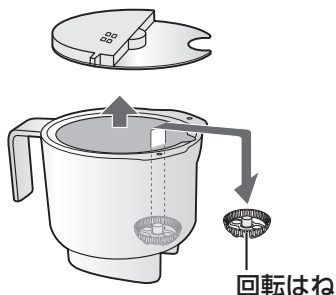
使うたびに

水タンク 本体から取りはずし、やわらかいスポンジを使い洗う



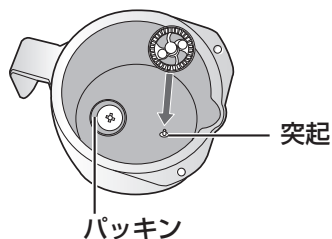
- 水洗いだけでは、水あか、ぬめりが付着するので台所用合成洗剤(中性)を使います。
(水あか・ぬめりがたまると、変色・におい・腐敗の原因)
お手入れ後は十分に水気を取ってください。

お茶容器 本体から取りはずし、やわらかいスポンジを使い水洗いする フタと回転はねも取りはずして、お手入れします。



- 汚れが取れにくい場合は、台所用合成洗剤(中性)を使います。
- パッキン周辺の汚れは、給茶レバーを下げながら(給茶レバーロック解除)、流水で洗い流します。
(汚れが残っていると水漏れの原因)
- 茶しぶなどの汚れが気になるときは、**酸素系漂白剤**が使えます。

- 回転はねをお手入れしたあとは、お茶容器本体底の突起に、差し込みます。(けがをしないように気を付けてください)
- パッキンがはずれてしまった場合は、給茶レバーを下げながら(給茶レバーロック解除)、押し込みます。
取り付け後、水を入れて、下から水が漏れてこないかを、確認してください。



ご注意

- お茶容器内側のパッキン、フタカバーは、無理にはずさないでください。
- 取りはずした回転はねは、放置せずに元の位置に正しく取りつけてください。
(紛失や幼児の誤飲のおそれ)

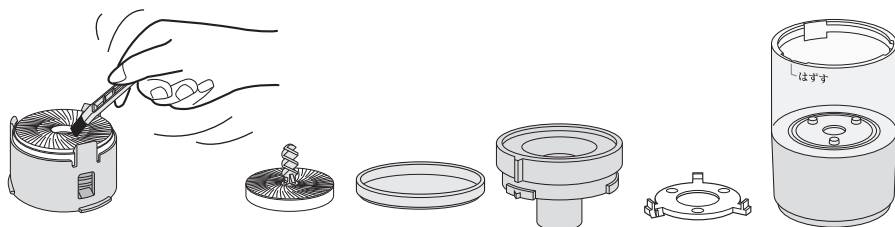
・・・お手入れ

1カ月に1回程度*

※ただし、次のような場合は、お手入れをしてください。

- 使用期間があいた場合(5日以上)
- 上うす、下うすが目詰まりして粉末茶が出なくなった場合
- 前回使用した茶葉と違う種類の茶葉を使用する場合

お茶うす 冷めてから分解して(分解方法 (8 ページ))、付属の清掃用ブラシで付着した粉末を取り除き、乾いた布で拭き取ります



上うすユニットと下うすは、これ以上分解しないでください。(故障の原因)

汚れがひどいとき、使用中(うすが回転中)異音がするとき、長期間(約1カ月以上)使用しない場合

水洗いをしてください。

- 水洗いをする場合も、付属の清掃用ブラシで、うすに付着した粉末をはらい落とすことをおすすめします。
- やわらかいスポンジに、台所用合成洗剤(中性)をつけて洗い、水道水でよくすすいでください。
- すすいだ後は、しっかり乾燥させてください。乾いた布でしっかり水気を拭き取ったあと、自然乾燥(8時間以上)してください。水気が残っていると、粉末茶が付着し、できあがり量が少なくなります。



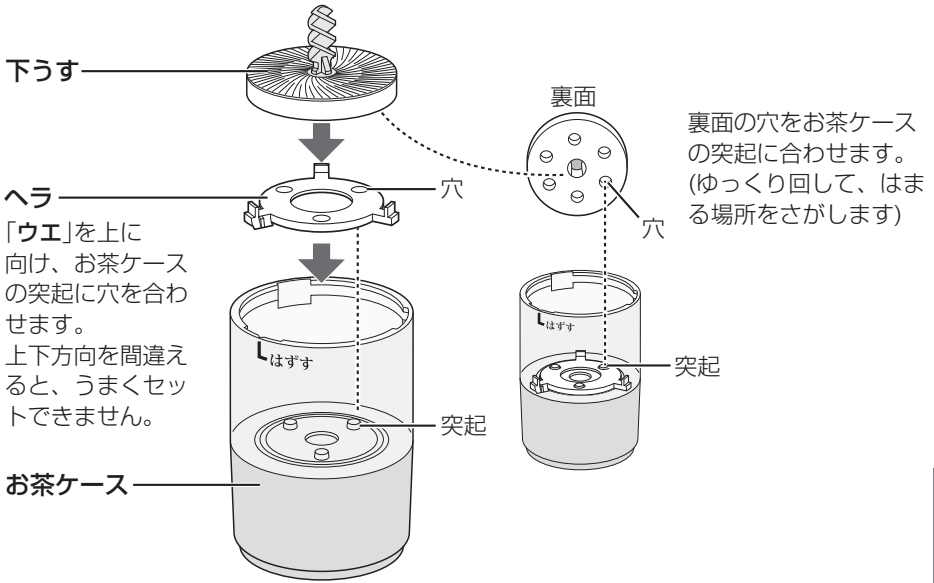
上うすユニットと下うすがくっついてしまった場合

- 無理にはずすと故障の原因になるため、ぬるま湯に上うすユニットと下うすを浸してください。(目安時間：2～3分)
- 再度使用するときは、しっかり乾燥させてください。乾いた布で水気を拭き取ったあと、自然乾燥(8時間以上)してください。(水気が残っていると、うすの目に粉末茶が詰まります)

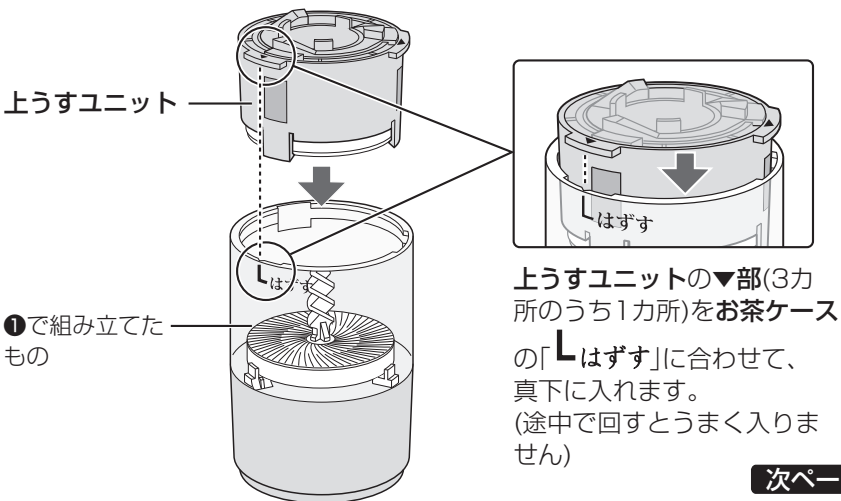
ご注意

- 水洗い後の乾燥については、食器乾燥器や電子レンジなどでの強制乾燥はしないでください。(変形や劣化の原因)
- 付属の清掃用ブラシは、お茶うす専用です。(他の部分で使用すると傷が付くおそれ)

① ヘラ・下うすをお茶ケースにセットする



② 上うすユニットをセットする



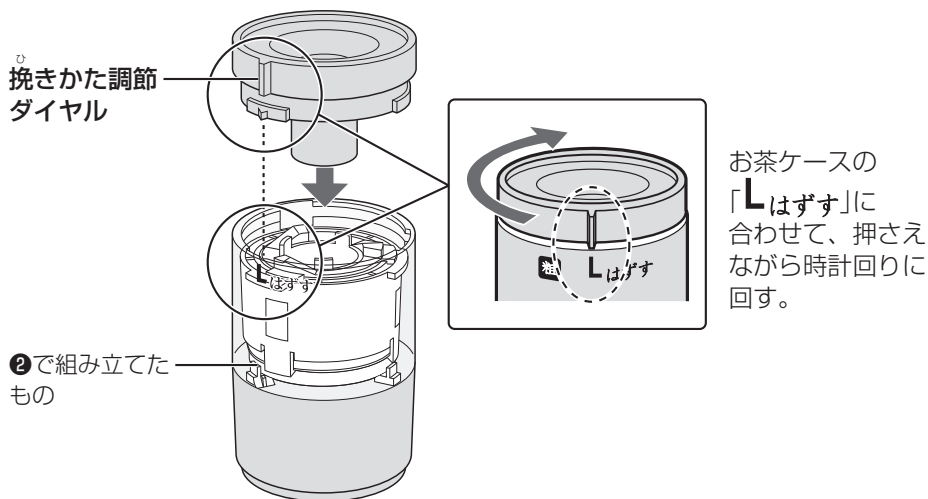
お手入れ

次ページへ

…お手入れ

…お茶うすの組立方法

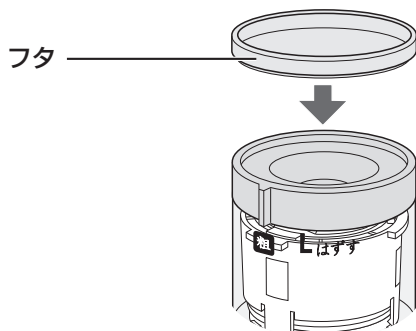
③ ^ひ挽きかた調節ダイヤルをセットする



うまくセットできないときは、① ②の組み立て (21ページ) がうまくできていません。次のことを確認しながら、もう一度、最初からやり直してください。

- ヘラ：「ウエ」を上に向ける。
- 下うす：裏面の穴をお茶容器の突起にはめる。
- 上うすユニット：位置を合わせ(▼とLはずす)、真下に入れる。

④ フタをのせる



…お手入れ クエン酸洗浄

湯沸かし時間の目安：3～4分

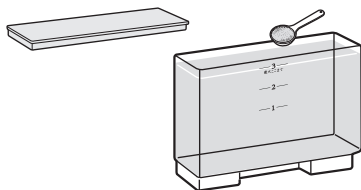
湯沸かし時間が長くなったら…

お使いいただいているうちに、水の中に含まれているミネラル分が製品内部のパイプなどに付着します。これは「湯あか」と言われているもので、付着すると、湯沸かし時間が長くなったり、水タンクに水が残ったりします。

次の方法で、湯あかを取り除いてください。

● 水質により、湯あかのつき具合は変わります。

- ① 水タンクに水位3まで水を入れる。
水位3を超えて入れないでください。



- ② 市販のクエン酸※大さじ1(約10g)入れ、
かき混ぜて溶かし、
フタをして本体にセットする。

- ③ カラのお茶容器を本体にセットし、
電源プラグを差し込む。



- ④ **茶** で「温茶」を選択し、
スタート を押す。

- ⑤ 終了音(ピーピーピーピー)が鳴ったら、
お茶容器を取りはずし、フタをはずしてお湯を捨てる。
● お茶容器、お湯でやけどをしないように注意してください。
フタはふきんなどを使ってはずしてください。



- ⑥ 水タンクに水位3まで水を入れ、フタをして、本体にセットする。
⑦ カラのお茶容器をセットする。
⑧ **茶** で「温茶」を選択し、**スタート** を押す。
⑨ 終了音(ピーピーピーピー)が鳴ったら、お茶容器のお湯を捨てる。
⑩ ⑥～⑨を2～3回繰り返す。

● 上記をおこなっても、まだ湯沸かし時間が長いと感じたり、水タンクに水が残っていたら、再度①～⑩を繰り返しておこなってください。

※クエン酸は、無添加、または99.5%以上のものをお使いください。
薬局などで購入できます。
クエン酸は食品添加物につき、食品衛生上無害です。

故障かな？

修理依頼やお問い合わせの前に
もう一度お調べ
ください。



こんな場合	故障ではありません
キーを押しても全くランプが点灯しない	●電源プラグがはずれていませんか？ →電源プラグをコンセントに差し込んでください。
粉末茶が出ない	● スタート を押してから約30秒後に粉末茶が始めます。 ●葉の長い茶葉や太い茶葉が投入口に残っていませんか？ →残った茶葉は取り除き、長い茶葉は短くしてからお使いください。 ●ヘラをお茶うすにセットしていますか？ ●うすの目に粉が詰まっていますか？ 茶葉やうすが湿っていると、うすの目に粉末茶が詰まりやすくなります。 ※お茶うすを分解して、付属の清掃用ブラシでお手入れしてください。 水洗いをする場合は、よく乾燥させる必要がありますので、すぐにお使いいただけません。 分解方法 (8 ページ)、 お手入れ (20 ページ)
挽く を押してもスタートできない	●連続して茶葉を挽いていませんか？ (11 ページ) →しばらくしてからお使いください。
使用中にうすの回転が止まったり、いつもと違う異常なうなり音がする	●使用できる茶葉以外のものが入っていませんか？ →お茶うすを分解して、うす部分を付属の清掃用ブラシでお手入れしてください。 分解方法 (8 ページ)、 お手入れ (20 ページ) 水洗いしても、取り除くことができない場合は、お買いあげの販売店またはシャープお客様相談窓口にご相談ください。 (そのまま使い続けると熱で変形するおそれ) (27 ページ)
粉末がダマになって残る	●粉末茶を液体より先に入れませんでしたか？ (16~17 ページ)
泡立ちが悪い(ラテ)	●粉末茶や牛乳の種類、温度などにより泡立ちが異なります。
できあがりの粉末量が少ない	●初めて使うときやお手入れ後はうすの目やすき間に入るため、量が少ない場合があります。茶葉の種類や葉の長さ、太さなどにより増減があります。
粗い粉末茶が出る	●挽きかた調節ダイヤルを「 細 」に合せていますか？
キーキー音がする	●初めて使うときやお手入れ後は、茶葉がうすに入るまで音がしますが、異常ではありません。
湯沸かし時間が長い 水タンクに水が残る	●湯あかが付着していませんか？ →クエン酸洗浄をしてください。(23 ページ)
表示ランプの点灯位置が次々に移動し、運転できない (キー操作はできる)	●デモ運転になっていますので、次の操作が必要です。 → 取消 をピッと鳴るまで4秒以上押し、さらに4回押します。 ※デモ運転とは、店頭などで商品の特長や機能を説明するためのものです。(自動的にランプの点灯位置が移動します)

こんな表示が出たら

エラー音(ピピピピ…)が鳴ります。



お茶うすがセット
されていません

- お茶うすを正しく取り付け、**スタート**を押してください。
正しく取り付けると、分量ランプが点滅から点灯に変わります。

※設定していた分量ランプが点滅
例：「1杯分」を設定していた場合



お茶容器がセット
されていません

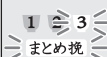
- お茶容器を正しく取り付け、**スタート**を押してください。
正しく取り付けると、メニューランプが点滅から点灯に変わります。

※設定していたメニューランプが点滅
例：「温茶」を設定していた場合



温茶 ラテ
水タンクに水が
入っていません

- 水タンクに水を入れてください。



うすの温度が熱く
なっています

- 連続使用により保護機能がはたらいています。
休止時間をおいてからお使いください。
休止目安時間(最大)：1杯分………4分
2杯分………8分
3杯分………12分
まとめ挽……30分

※挽くことができない分量ランプが点滅
例：「3杯分」「まとめ挽」で
挽くことができない場合

上記以外の表示が出て、運転が停止した場合は、製品が故障している場合があります。
電源プラグをコンセントから抜き、お買いあげの販売店、またはシャープお客様ご相談窓口に表示の内容をご連絡ください。(27ページ)

仕様

電源	交流100V 50-60Hz共用
定格消費電力	930W
外形寸法	幅220×奥行207×高さ277(mm)
質量	約2.6kg
電源コードの長さ	約1.2m
1時間当たりの待機時消費電力量	約0.4Wh

お茶メーカー

消費電力	900W
最大使用水量	420mL
温度ヒューズ	216℃

お茶うす

消費電力	30W
粉末生成量*	約4.0g / 15分(細)
定格時間	15分

※茶葉の種類や葉の長さ、太さなどによって増減します。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理を依頼されるときは

持込修理

- 1 「故障かな？」(24ページ)を調べてください。
- 2 それでも異常があるときは使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてください。
- 3 お買いあげの販売店に、ご連絡ください。

便利メモ

お買いあげの際に記入されると便利です。

販売店名

電話 () —

お買いあげ日 年 月 日

この製品は、日本国内用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では、使用できません。また、アフターサービスもできません。

保証期間中

- 修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

- 修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

- 修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

保証書(一体)

- 保証期間…お買いあげの日から1年間です。保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
※一般家庭用以外(例えば、業務用、車両・船舶への搭載)に使用された場合の故障・損傷など有料です。

補修用性能部品の保有期間

- 当社はお茶メーカーの補修用性能部品を製品の製造打切後、5年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。



長年ご使用の場合は商品の点検を！

こんな症状はありませんか？

- 電源プラグやコードが異常に熱くなる。
- コゲ臭いにおいがしたり、運転中に異常な音や振動がする。
- 触れるとピリピリと電気を感じる。
- その他の異常や故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・使いかた・お手入れ・お買い物などのご相談・ご依頼、および万一、製品による事故が発生した場合は、お買いあげの販売店、または下記窓口にお問い合わせください。
ファクシミリ送信される場合は、製品の形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。

※弊社では、確実なおお客様対応のため、フリーダイヤル・ナビダイヤルサービスをご利用のお客様に「発信者番号通知」をお願いしています。発信者番号を非通知に設定されている場合は、番号の最初に「186」をつけておかけください。



メールでのお問い合わせなど【シャープサポートページ】

<http://www.sharp.co.jp/support/> ■よくあるご質問などもパソコンから検索できます。



使用方法のご相談など【お客様相談センター】おかけ間違いのないようご注意ください。

受付時間 (年末年始を除く) ●月曜～土曜：9:00～18:00 ●日曜・祝日：9:00～17:00

固定電話、PHSからは、フリーダイヤル

0120 - 078 - 178

携帯電話からは、ナビダイヤル

0570 - 550 - 449

■フリーダイヤル・ナビダイヤルがご利用いただけない場合は…

電話	FAX
06 - 6792 - 1582	06 - 6792 - 5993
〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72	



修理のご相談など【修理相談センター】おかけ間違いのないようご注意ください。

受付時間 (年末年始を除く) ●月曜～土曜：9:00～20:00 ●日曜・祝日：9:00～17:00

固定電話、PHSからは、フリーダイヤル

0120 - 02 - 4649

携帯電話からは、ナビダイヤル

0570 - 550 - 447

■フリーダイヤル・ナビダイヤルがご利用いただけない場合は…

	電話	FAX
東日本地区	043 - 299 - 3863	043 - 299 - 3865
西日本地区	06 - 6792 - 5511	06 - 6792 - 3221

持込修理および部品購入のご相談は、下記地区別窓口(サービスセンター/テクニカルセンター)でも承っております。

受付時間 (祝日など弊社休日を除く) ●月曜～土曜：9:00～17:40 ただし、沖縄地区は月曜～金曜：9:00～17:40

北海道	●札幌 011-641-4685 〒063-0801 札幌市西区二十四軒1条7-3-17	中部	●静岡 054-344-5781 〒424-0067 静岡市清水区鳥坂1170-1	近畿	●大阪 06-6794-5611 〒547-8510 大阪市平野区加美南3-7-19
	●仙台 022-288-9142 〒984-0002 仙台市若林区卸町東3-1-27		●名古屋 052-332-2623 〒454-0011 名古屋市市中川区山王3-5-5		●広島 082-874-8149 〒731-0113 広島市安佐南区西原2-13-4
東北	●宇都宮 028-637-1179 〒320-0833 宇都宮市不動前4-2-41	近畿	●金沢 076-249-2434 〒921-8801 野々市市御縁塚4-103	●高松 087-823-4901 〒760-0065 高松市朝日町6-2-8	
関東	●東京都 03-5855-0432 〒114-0012 北区田端新町2-2-12		●京都 075-672-2378 〒601-8102 京都市南区上烏羽菅田町48	●福岡 092-572-4652 〒812-0881 福岡市博多区井相田2-12-1	
	●横浜 045-753-4647 〒235-0036 横浜市磯子区中原1-2-23	●阪神 06-6422-0455 〒661-0981 尼崎市猪名寺3-2-10	●沖縄 098-861-0866 〒900-0002 那覇市博2-10-1		

●お電話は番号をよくお確かめのうえ、お間違いのないようおかけください。

●所在地・電話番号・受付時間などについては、変更になることがあります。(2013.09)

お問い合わせ先

お問い合わせの前にもう一度「故障かな?」(24~25ページ)をご確認ください。



メールでのお問い合わせなど
【シャープサポートページ】

シャープ お問い合わせ

検索

<http://www.sharp.co.jp/support/>



使用方法のご相談など
【お客様相談センター】

固定電話、PHSからは、フリーダイヤル
 0120-078-178

携帯電話からは、ナビダイヤル
 0570-550-449



修理のご相談など
【修理相談センター】

固定電話、PHSからは、フリーダイヤル
 0120-02-4649

携帯電話からは、ナビダイヤル
 0570-550-447

※非通知設定の電話は、最初に「186」をつけておかけください。詳しくは、取扱説明書27ページをご覧ください。

シャープ株式会社

本社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
健康・環境システム事業本部 〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3丁目1番72号

Printed in China

TINSJA006WBRZ 14E- (CN) ②